

研究発表

印象記

南川整形外科病院 理学療法士 山口 亮

第30回 福岡肩・膝リハビリ研究会に参加して



平成30年8月18日、ホテルセンタラーザ博多にて、福岡肩・膝リハビリ研究会が開催され、3名の理学療法士が研究発表しました。福岡肩・膝リハビリ研究会は、福岡の4つの病院に所属する理学療法士が、医師の指導の下、自身の研究を討議する会になります。

私は『KJOC スコアを用いた投球障害に対する満足度の分析』というテーマで発表しました。KJOC スコアとは、アメリカの整形外科病院で作成された、オーバーヘッドスポーツ選手向けの運動パフォーマンスや肩・肘の症状を自分で評価できる方法です。KJOC スコアを評価する前までは、身体の柔らかさや筋力などを数値化することによって、ケガの状態を評価していましたが、ケガが回復するまでのリハビリで、患者がどこまで満足しているのかを知りたいと思い、実施しました。

分析の結果、ストレッチと肩や肘のスタミナの項目で満足度の伸びしろがありました。また、球速やコントロールなどの野球技術に対するリハビリへのアプローチも必要であることが分かりました。今回の研究より、運動メニューの負荷量やストレッチの指導法を改良し、患者のケガによる能力低下や不安感を取り除けていければと思います。

今後は試合出場後の満足度を分析することで新たな発見があるかどうか調べていきたいと考えています。

南川整形外科病院を選んで、受診してくださった選手全員が満足して競技復帰できるよう、これまで以上に努めて参ります。